

大会名称: 第18回全国障害者スポーツ大会 バasketボール競技
(福井しあわせ元気大会)

開催場所: 勝山市体育館「ジオアリーナ」Aコート

試合区分: No. 19 男子 決勝

期 日: 2018(H30)年10月14日(日)

開始時間: 16:10

終了時間: 17:40



主審: 仲埜 弘幸(福井県)

第1副審: 日下 弘賢(福井県)

第2副審: 本多 淳一郎(福井県)

<p>東京都</p> <p>(関東)</p>	<p>○</p> <p>97</p>	<p>25 — 10</p> <p>14 — 11</p> <p>27 — 25</p> <p>31 — 18</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>64</p>	<p>大阪市</p> <p>(近畿)</p>
------------------------	--------------------	--	--------------------	------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		鈴木 誠	10	0	5	0	1	1	2
5		中川 雄一郎	12	3	1	1	1	3	0
6	*	渡部 健太	8	0	4	0	0	8	1
7	*	渡辺 稜	3	1	0	0	3	7	8
8		川口 司	6	0	3	0	1	7	2
9	*	今村 友紀	2	0	1	0	3	6	0
10		柳澤 波生大	22	0	10	2	1	7	5
11		秋山 昭広	4	0	2	0	0	5	0
12		高橋 一輝	0	0	0	0	0	4	1
13	*	根津 友和	20	0	9	2	1	3	1
14		隈元 凌	2	0	1	0	1	1	0
15	*	富澤 柁斗	8	0	4	0	1	0	3
HC		小嶋 祐希 / TEAM							
		合計	97	4	40	5	13	52	23

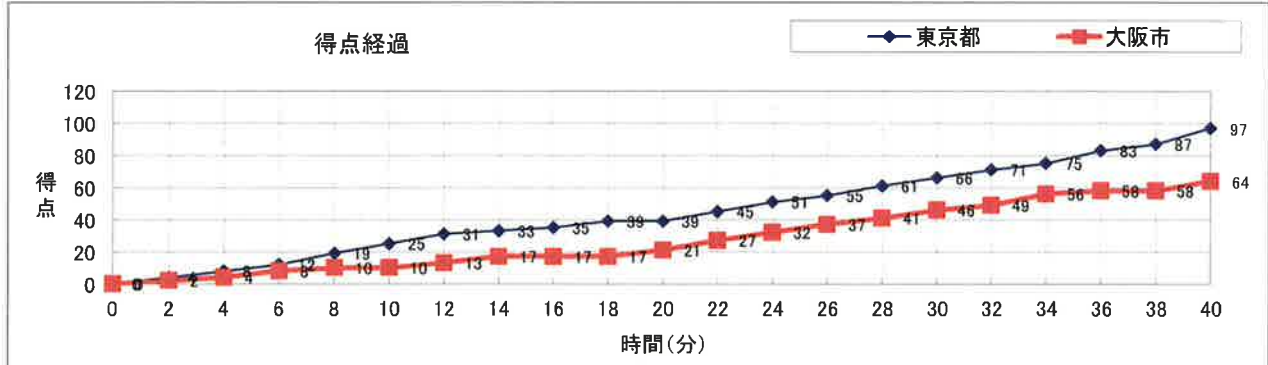
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		四方 一孝	0	0	0	0	0	1	0
5	*	河本 健志郎	8	0	4	0	3	7	2
6	*	土井 俊英	15	0	6	3	3	13	0
7	*	坂本 龍哉	22	2	8	0	5	4	6
8	*	高柳 竜佑	2	0	1	0	1	7	4
9		土井 裕行	6	0	2	2	0	2	0
10	*	笹本 琢真	11	3	1	0	1	3	4
11		三浦 誠己	-	-	-	-	-	-	-
12		山口 祥季	-	-	-	-	-	-	-
13		木村 裕於	-	-	-	-	-	-	-
14		渡邊 拓二	0	0	0	0	0	1	0
HC		藤田 景一 / TEAM							
		合計	64	5	22	5	13	38	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

連覇を目指す東京都と、準決勝で愛知県との激戦を制した大阪市との対戦。
 第1ピリオドは互いに1-2-2ディフェンスの攻防。まず東京都が次々と速攻を出して速い展開に持ち込み、開始3分で8-2とリードする。対する大阪府は#7の持ち味を封じられ、苦しい展開。東京都は#7を中心としてアップテンポで多彩な攻撃を繰り出し、25-10とした。
 第2ピリオド、東京都の激しいディフェンスに大阪府はミスが続き、開始2分で31-13とされ、タイムアウト。その後大阪府はゴール下で着実に加点していくが、東京都は#10が速攻とミドルシュートを連続で決めるなどして、大阪府の追従を許さず、39-21として前半を終了した。
 第3ピリオド、前半抑え込まれた大阪府#7が開始早々の得点で復活の狼煙を上げる。大阪府は続けて#7のミドルシュートや#10の連続3Pで得点し、本来の持ち味を取り戻す。息を吹き返した大阪府が互角の展開に持ち込むが、東京都も#5の3Pなどで応戦し、66-46で終了。
 第4ピリオド、完全復調した大阪府#7が3Pを沈めて猛反撃を開始。東京都も#5を中心に攻撃の手を緩めず、交代後もフルコートのゾーンプレスで大阪府のミス誘う。大阪府は攻守に渡り八面六臂の大活躍を見せた#7が残り4分で5ファールの退場となって万事休す。大会を通して層の厚さを見せつけた東京都が、粘り強く戦った大阪府を振り切り、97-64で大会2連覇を成し遂げた。優勝を目指す最後まで全力で戦った両チームに大きな拍手を送りたい。

担当者: 山口 芳弘((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本障がい者スポーツ協会



大会名称: 第18回全国障害者スポーツ大会 バasketボール競技
(福井しあわせ元気大会)

開催場所: 勝山市体育館「ジオアリーナ」Bコート

試合区分: No. 20 女子 決勝

期 日: 2018(H30)年10月14日(日)

開始時間: 16:10

終了時間: 17:40



主審: 梅田 香(福井県)

第1副審: 長谷川 雅之(福井県)

第2副審: 辻崎 紀晶(福井県)

<p>東京都</p> <p>(関東)</p>	<p>○</p> <p>75</p>	<p>22 — 6</p> <p>14 — 17</p> <p>19 — 10</p> <p>20 — 16</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>49</p>	<p>秋田県</p> <p>(北海道・東北)</p>
-------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	-----------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	角田 マサコ	18	0	9	0	2	7	4
5		田中 珠莉	-	-	-	-	-	-	-
6	*	鈴木 玲奈	2	0	1	0	1	7	7
7	*	坂本 七海	12	0	5	2	4	19	2
8		鐘田 雅美	-	-	-	-	-	-	-
9	*	子安 みお	19	1	8	0	2	7	3
10		相川 裕美	4	0	2	0	0	0	1
11		須藤 春美	-	-	-	-	-	-	-
12		岩井 亜実	-	-	-	-	-	-	-
13		梅野 麻衣	-	-	-	-	-	-	-
14	*	鈴木 美和	6	0	3	0	0	0	7
15		嵯峨 麗奈	14	0	7	0	0	4	1
HC 大沼 弘法 / TEAM									
合計			75	1	35	2	9	44	25

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		保坂 春菜	-	-	-	-	-	-	-
6	*	今野 理紗	16	0	8	0	1	14	0
7	*	齋藤 南海	3	1	0	0	1	4	1
8	*	奈良 美咲	4	0	2	0	0	5	8
9	*	谷 亜佳里	21	0	10	1	2	16	2
10		金持 由美	-	-	-	-	-	-	-
11	*	木村 里奈	5	1	1	0	0	1	2
12		野口 明日華	-	-	-	-	-	-	-
13		畑中 智美	0	0	0	0	2	0	0
14		奈良 美優	-	-	-	-	-	-	-
15		梅田 桜奈	-	-	-	-	-	-	-
HC 今井 理 / TEAM									
合計			49	2	21	1	6	40	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、秋田県はゾーンディフェンス、東京都はマンツーマンディフェンスで始まる。秋田県は、スクリーンプレイから#6のドライブインで先制するも東京都がディフェンスのプレッシャーを強め、なかなかシュートまで行けない。一方、東京都はオフェンスリバウンドを頑張り、#7のバスケットカウント、#4のインサイドプレーで得点し、開始5分、2-9になったところで、秋田県がタイムアウト。その後も東京都の勢いは続き、#9のスティールからのレイアップや#7のインサイドで得点を重ね、6-22と大きく点差を拡げた。

第2ピリオド、互いに流れがつかめないままゲームは進み、残り3分東京都の#15の連続得点で20点差になったところで、秋田県がタイムアウト。その後、秋田県はスクリーンプレイからの#9のドライブインや#11の3P、#6のゴール下で点差を縮め、23-36で終了。

第3ピリオド、互いにディフェンスは変わらない。東京都は連続速攻に加え、速いバス回しと1対1で切り崩し得点を積み重ねる。一方、秋田県は、スクリーンプレイで活路を見出そうとするが、なかなか決まらない。その中を#6と#9がオフェンスリバウンドを頑張り得点する。

第4ピリオド、秋田県はハイロープレーでゴールを狙おうとするが東京都は守り切る。東京都は最後まで全力で走り、実力を見せつけ75-49で見事優勝を飾った。最後まで精一杯戦った両チームの健闘を称えたい。

担当者: 藤井 克明((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本障がい者スポーツ協会

